

家づくりのヒント (外部編)

建物の外皮(外壁や屋根)や外回り(植栽や舗装)は、太陽光を利用したり、そのほかの自然環境や熱環境などを考えた計画にしておく、環境負荷も少なくなり、熱エネルギー的にも、より自立し、消費エネルギーも小さくなります。

西日を遮る落葉樹を
植えれば、夏と冬で
自然の日照調整を
行うことができる

屋根には太陽熱温水器を
設置して、床暖房や風呂に
利用できるようにしたい

南側の勾配屋根は、
片流れの大屋根にし、
太陽光発電等を利用できる
ようにしておく

夏の屋根からの熱は、
断熱材だけで防ぐのではなく、
遮熱材も使って、効果的に断熱する

断熱サッシにして
熱損失を最小限に
抑えることが
できるようにする

北側屋根は
隣地の日照に配慮し、
高さを低く抑える

庇や可動オーニングで、
夏は太陽光を遮り、
冬は太陽光を
取り入れる生活をする

壁断熱材は断熱性能の高い
ものを使う。
また、熱反射する遮熱材も
使い、夏を快適に

敷地境界はブロック塀ではなく
(地震時に危険)植栽を
植えて緑化

大屋根に降った雨水は
雨樋から雨水タンクへ

テラスデッキを設けて、
外部の光を柔らかく
室内に取り込むよう
にする

門灯は電力消費量の
小さいLED照明を
使用する

アプローチは
通路以外を緑化
しておきたい

外装は汚れを落とす
効果がある素材を使う。
また、長期間メンテナンスが
不要な材にする

構造材は含水率15%以下の
木材を使う(木材の内部含水率は
15%以下が理想)

駐車スペースは透水性の舗装で、
雨水を浸透させ、タイヤの通る
ところ以外は緑化する

(監修:パルシステムの住まいなるほど塾)